

サーキュラーエコノミーの実現

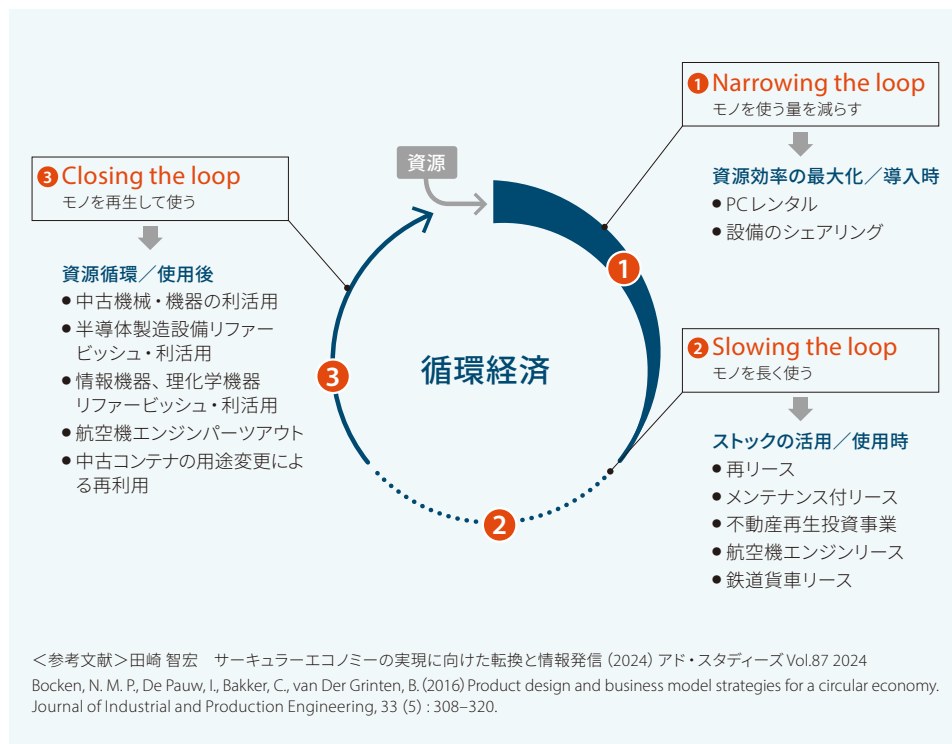
当社グループは、“サーキュラーエコノミーの実現”をマテリアリティ（重要課題）の1つとして掲げ、経営理念である“アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出する”ための具体的なアプローチの1つとして取り組んでいます。

当社グループにおけるサーキュラーエコノミー

当社グループは、さまざまなビジネスを通じてサーキュラーエコノミー（CE）の実現に貢献しています。

祖業であるリース事業は、使い終わった資産が返却されるというビジネスモデルの特性上、CEと親和性が高く、当社グループはリース契約の対象となる設備・機器の“価値を最大化”するさまざまなソリューションを有しています。

当社グループのビジネスは、下図のとおりCE実現のための各要素と関連しています。



当社グループの強み

CEの実現に向けた取り組みは、当社のステークホルダーが抱える課題の解決にもつながります。当社グループは、お客さまやパートナーとの広範なネットワークに加え、アセットおよび業界に関する専門的知見、さらにIoTやデータ利活用等のデジタル技術を有しており、これらを掛け合わせることで課題解決を推進できる点に強みがあります。

こうした強みを生かし、アセット利用者にとっての価値向上と、アセット自体の生涯価値の最大化に取り組んでいます。

また、経済産業省が定めるCEコマースビジネスには、①物品の稼働率を高める、②物品の利用期間を延ばす、③物品の寿命を延ばす、の3つの方法が定義されており、これらは当社グループが強みを発揮できる領域と重なっています。

こうした取り組みの一例として、CEに関する産官学連携のパートナーシップである「サーキュラーパートナーズ」が公表した「CEコマース取組事例」において、当社グループの「半導体製造装置のライフサイクルに応じたソリューション」が紹介されています。

[Web](#) 「CEコマース取組事例」の詳細はウェブサイトをご覧ください。

Column

当社とソラリスが予防保全インフラメンテナンスのサブスクサービスを開始

ミミズ型管内走行ロボットを活用した予防保全型インフラメンテナンス*のサブスクリプションサービスを開始しました。機器貸出、保守メンテナンス、初期導入支援をワンパッケージで提供します。

CEコマースビジネスの中では「物品の稼働率を高める」に寄与する取り組みになります。必要な機能を最適な形で提供することでお客さまの生産現場の稼働停止時間の削減に貢献するほか、お客さまの設備寿命延長を実現します。

※施設の機能や性能に不具合が発生する前に修繕などの対策を行うこと。



[Web](#) サーキュラーエコノミーの実現の詳細はESGデータブックをご覧ください。